

令和8年度 部活動の基本方針

1 教育目標の位置付け

教育目標	校訓 「自立、挑戦、創造」の実現を図る学校 ・個性を尊重し、新たな自己の実現を助ける学校 ・主体的に活動し、時代の変化に対応する柔軟な思考力と豊かな創造力を養う態度を育む学校 ・自己を見つめ、他人を思いやる情操豊かな人間を育てる学校 ・安心安全で、誰一人取り残さない個別最適な学びが保障される教育環境が整った学校 ・スクールミッションに基づき、定時制に求められている教育を実践していく学校
目標具現化の柱	自らを律し、他を思いやることのできる豊かな心と健康な身体の育成

2 部活動の設置（生徒会規約 第9章部活動 第48条[部活動の設置]）

部活動は、生徒と教員の自由な意思を尊重し、生徒の創造的で継続的な集団活動を育てていく場として設置される。

3 令和8年度設置部活動

運動部	文化部
陸上競技	美術工芸
水泳	吹奏楽
バドミントン	ビジネス
バスケットボール	放送芸術
ソフトテニス	書道
野球	写真
サッカー	自然科学
剣道	軽音楽
卓球	文芸
バレーボール	保健委員

4 学校経営計画上の本年度の取り組み

区分	目標
成果目標	部活動の活性化 部活動加入率 35%以上。 部活動所属している生徒で意欲的に取り組んでいる生徒が 70%以上
効率的・効果的な活動の取組	○入試説明会、一日体験入学等の際、HP等を活用して活動を広報し加入率向上と意欲向上を目指していく。 ○活動日数前年度比アップ

5 部活動の休養日・活動時間

休養日	原則として週に2日以上（平日1日、休日1日）は休みを取る。ハイシーズンに多めに活動した場合は、オフシーズンに休み均衡を図る。
活動時間	原則として、平日は夕休み（16:10～17:30）に行う。Cコースの授業の妨げにならないようにする。休日に活動する場合は1日3時間程度とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とする。その中で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。
その他	長期休業中に一定期間のオフシーズンを設定すること。